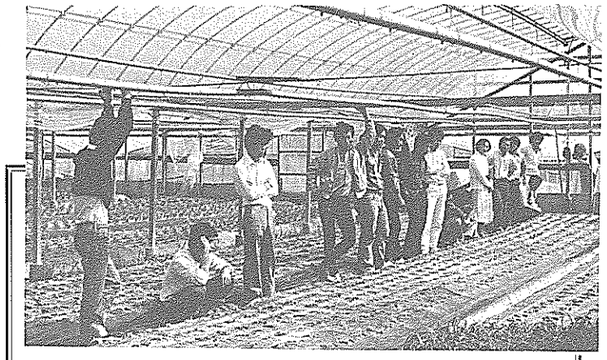


ガンバレ新就農者!!

五月十七日、南国4日クラブなどで組織されている南国地区農村青少年クラブ連絡協議会（会長＝浜田文昭）主催による五十四年度新就農者激励会が開催されました。

この激励会は、なかまづくりの一環として、南国市内の農業青年が一堂に会し、日頃の活動の成果をわかち合い親睦を深めるとともに、新就農者を激励し、農業青年の組織活動を強化し、相たずさえて、これからの農業の担い手としての気概をたかめようという目的で、今年から新たに農業にとり組む農業青年を迎え開いたものです。

午後一時、普及所に集合した、一行約二〇名（新就農者、4日クラブ員、普及所指導員）は、物部の小松正人さん（青年農業士）＝シシトウ・ヒメサザ、植田の沢田雅弘さん（青年農業士）＝ニラ、久礼田の徳橋昭俊さん（青年農業士）＝バラ（ガラス温室）を訪れ、栽培方法や経営状況を見学。それぞれの訪問先では、普及所浜田指導員などの栽培のコツ、むつかしさなどの説明や助言に対し、専門的な質問があり、有意義な現地視察となりました。

その後、一行は懇親会会場に移り、最初に、主催者側を代表して、協議会会長の浜田文昭さんより4日クラブへの参加の要請と『プロジェクト活動を通して、今後一層の連帯を深め、次の世代を担う農業青年としてともに頑張ろう』とあいさつがあり、新就農者一人ひとりが緊張した面持ちで自己紹介したあと、来賓祝辞。

まず、田村農業委員会会長は、「マスコミなどでは日本の農業の暗さのみを宣伝しているが、将来は明るくなるんだという希望を持って、農業の道を切り開いて行ってほしい」、また、野島普及所長は『能力と努力で農業のメリットを延ばしながら、後継者難の中でたしかに農業をやって良かったと言えるようになってほしい』と、それぞれ激励の言葉がありました。

今年の新就農者は、男子九名、女子一名（昨年男子のみ八名）の計十名で、中には会社勤めをやめ農業の道を選んだ青年もいて、それぞれ将来の希望に胸をふくらましているようでした。今後のご活躍をおいのりします。

氏名などは次のとおり。

高橋千枝（国府）水稲
横山英之（下野田）施設花卉（菊）
斎藤正昭（白木谷）酪農
松木昭雄（浜改田）シシトウ
浜口章典（浜改田）ピーマン、メロン
土居昭寛（十市）スモモ、ナシ
西村隆雄（十市）シシトウ、ピーマン、生姜
浜田恭史（十市）シシトウ、ピーマン
村田輝昭（十市）シシトウ、ピーマン
土居俊介（十市）シシトウ、ピーマン

主婦は交通安全の主役

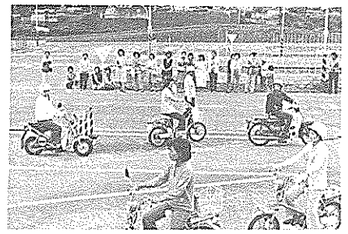
ミニバイクの安全教室開かれる

最近ミニバイクの女性ドライバーが急増――『春の全国交通安全運動』期間中の五月十三日、中央婦人学級の一環としての『ミニバイクの交通安全教室』が南国自動車学校で開かれ、参加した約四十人の婦人がミニバイクの正しい乗り方などを勉強しました。

この日は、南国警察署の西尾交通課長を講師に迎え、午前九時から一時間あまり、教室でまず交通安全学習。二輪車の特性や乗車時の服装などを聞いたあと、コースに出て運転基本についての実技指導に入りました。

実技指導では、十三人の婦人が実際にコースを走り、ブレーキの使い方、交差点の通行、安全確認などについて細かいアドバイス。最後に南国署の白バイを先頭にコースを回り『復習』をして正午前に教室を終りました。

参加者の感想は――『これまでは後方、左右の安全確認なども不十分で、ただ漫然と乗っていました。まだ乗りはじめですが、だいぶ自信がつきました』また指導した西尾課長は『主婦のみなさんは交通安全の主役です。このことをいつも心がけていてください』と話していました。



親子クイズ 98

ご家庭で話し合って答えてください。答はこの広報に出ています。

■もんだい・今年も〇月〇日の日曜日に一斉清掃が市内全域で行われます。ご協力ください。

■しめきり・六月十五日（金）

″キャラバン隊″市役所を訪問

国際児童年全国統一キャンペーン

今年は、児童の権利を宣言して二十周年を記念する「国際児童年」にあたります。

わが国でもこの国連の決議をうけて、昨年六月十六日、総理府に「国際児童年事業推進会議」を設置し、①啓発活動、②国内施策として五月と夏休み、権利宣言記念の十一月二十日頃の全国的行事、③国際協力の一環として、開発途上国の子どもたちのために広く募金運動を行うことを決めました。

五月二日、午後一時、この啓発活動の一環として、国際児童年全国統一キャンペーンの一行十名（青少年の指導者たち）が、市役所を訪れて総理大臣と事業推進会議議長のメッセージを市長代理の門田教育長に手渡しました。

メッセージの主旨は、児童の福祉向上へのより一層の努力の要請と国の施策への協力要請でした。

席上キャラバン隊からのインタビューに教育長が答えました。

□こどもに何を期待しますか。

■苦しみに耐える力をつけてもらいたい。

□子どもに何をしてやりたいですか。

■行政にたずさわる者として「遊び場」を充分確保してやりたい。

子どもの今の遊び方は、私たちの年代と比べてどうも『ほんとうの遊び』ではないように思われるので…。

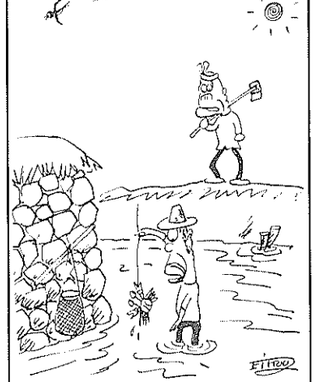
□「おとな」は「子ども」のためにどうすべきでしょう。

■ともすれば「おとな」のわくから「子ども」をみがちだが、「子ども」の立場になってみることがまず必要だと思います。

また、教育長からも最近の子どもの自殺多発の原因についての意見をもとめる一幕もありました。

短い話しあいでしたが「子ども」に次の時代をどうバトンタッチするのか、大きな使命を痛感しました。児童憲章を毎日の生活で生かして、毎年が児童年でありたいものです。

南国市でも、現在具体的な計画を検討しているようですが、とにかく「子どもの将来」を第一に考えた計画が必要でしょう。



海でシラスを取るきにうなぎが
ひとつもおらんなった

■おくり先・〒783南国市大埇甲2301南国市役所内広報委員会親子クイズ係。

■答えのハガキには必ず、お歳・職業・住所・氏名を書いてください。

■賞品・特賞千円＝三人、残念賞（記念品）＝五人

第九十二回正解者発表

■答え・（98）（98）（98）（98）でした。

■特賞・千円＝三人
古谷理恵さん（植田）
池本美枝さん（篠原）
平野貴代さん（岡豊町八幡）

■残念賞・記念品＝五人
高橋伸軸（植野）窪内通夫（大埇）高橋佐知（植野）山崎幸志（岡豊町中島）藤原春美（岡豊町定林寺）

南国歌壇

ほそぼそと肥料少なく想はるる
つつじの枝先蕾赤かり
立田　北村幸江

孤独にて寂しき部屋の昼下がり
セキセイしきり吾を呼びいる
下野田　徳久まさみ

ようやくにとき放たれし春の夜を
更けし湯船に歌をねりつつ
亀岩　島本　栄

百才迄の願ひも空なし春浄の
夕べ安らに身慄りしな
北三畠　小笠原綾子

組まれいし足場もすでに外されて
学舎は蓮ゆ田園の地に
笠ノ川　葛目治子

田蛙の鳴きあひてまたすぐに止む
騒然として深閑として
浜改田　清水愛川

南国柳壇

泣き声がうしろ髪ひく新園児
廿枝　長野福美

足の向く気の向く儘の一人旅
植田　吉本其梅

しわの手をふりつつ帰る古き友
南三畠　井沢正子

鯉のぼり奈須の与一は空ぞ射る
立田　清岡照子

南国俳壇

折り上げし千代紙雛へ紅を引く　島田　清子（おがたま会）
啓蟄の蛙の背なにある斑　浜田　弥芳（〃）
並び立つ童地蔵や東風強し　沢村　節（〃）
メーデーや朝から腹がぶつぶつ鳴る　楠潮　統子（花楞俳句会）
五月雲千万の笑み抱き上げる　岡田　昌子（〃）
ふるさとの夜の縁にある蛇苺　岡田　寿子（〃）
鉱山の五月の風は親しくて　西村ひとし（芳花の会）
椿落つ蜂の翅音を拡げ終え　浜田　民生（〃）
異次元の祭り盛んや花吹雪　門田けんぷ（〃）